

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp

研修講座 教員ICT活用地域支援研修会

「協働的で深い学びにおけるICT活用」

【講師】 三重県教育委員会事務局 研修推進課テーマ研修班 金谷淳史先生
太田光宣先生

9月2日(月)、三重県教育委員会事務局 研修推進課テーマ研修会の金谷淳史研修主事と太田光宣係長兼研修主事をお迎えし、研修講座「教員ICT活用地域支援研修会」を実施しました。

初めに、伊賀市教育委員会の百地指導主事より、ICTを積極的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、すべての子どもたちの可能性を引き出すために、学校や家庭学習で効果的な活用を今後も続けてほしいという話がありました。そして、来年4月から本格的に導入が始まる総合型教育支援システムの話がありました。その後、中学校区でグループになり、それぞれの先生方の日頃の取組や2学期からの自校の取組について実践交流を行いました。

後半は、三重県教育委員会金谷研修主事より、「協働的で深い学びにおけるICT活用」と題して、ご講義いただきました。初めに授業実践動画を視聴しました。実践動画では、自ら課題に取り組み、タブレットを介して他者へ自分の考えをアウトプットし、最後には学習の振り返りをスプレッドシートに記入する生徒の姿がありました。視聴後はグループで「協働的で深い学びを生むためにはどのような授業が理想的と考えるか」について話し合いを行いました。

講義の最後には、金谷研修主事から「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、引き続きICTを効果的に活用してほしい」というお話がありました。本講座で学んだことや交流したことを還流していただくとともに、2学期からの実践に活かしていただきたいと思います。

アンケートより【一部抜粋】

- ・協働的で深い学びにつなげていくためには、ICTの基本的な使い方、ルールを基盤とし、誰一人取り残さないような授業を組み立てることが必要だと思いました。子どもたちが主体的になるような課題の設定をすることで子ども同士がつながっていく手立てを教師側が考えていかなければならないと改めて感じた。(小)
- ・授業実践動画を視聴して、1年間続けてきたからこそ課題解決に向けて何をしなければいけないのか、誰と話さなければいけないのかを生徒が考え、行動していたところに刺激を受けましたし、勉強になりました。時間をかけた積み重ねや丁寧な教材研究をぜひ真似をしたいと思いました。(中)

